

◆平成三年度市政懇談会開催
―明るく住みよい

街づくりのために―

昨年十月二十五日総合福祉センターにおいて平成三年度「市政懇談会」が開催された。

市側から佐々木市長はじめ各部長、町連からは役員三十七名出席し、青森市が進めている諸施策や地域で抱えている問題等について卒直に意見を交し、今後の事業運営に当り一層の理解が得られることを目的に開催されたものであります。

会議に先だち能登会長から「日頃行政からのご指導ご支援に対し、心からお礼を申し上げますと共に本日の懇談会を通じて二十一世紀に向け

た青森市の明るく住みよい将来像実現のため協力してまいりたい」とのあいさつがあり。

佐々木市長から「青い森につつまれ活力と潤いに満ちた北の中枢都市の将来都市像の実現に向けて

- ① 豊かな明日を担う人づくり
- ② 活力に満ちた産業のための基盤づくり

- ③ 住みよい、いきいきしたうれしいまちづくり

- ④ 健康であたたかい地域社会づくり

の四つの目標のもとに重点的・効率的に事業を推し進め、「豊かで住みよい魅力あふれるうれしいまちづくり」のため精力的に施策を展開してまいりたい」とむねの力強いご挨拶があり、町連から、

- 街路灯維持管理費等補助金の支払事務について
- 総合的な雪対策について
- 公共下水道の現状と整備の見通しについて
- 青森操車場跡地について
- リサイクル運動について
- 二十一世紀に向けて、青森市の将来像について

・ 魅力あふれるうれしいいまちづくりの考え方

・ ウォーターフロント・ベイブリッジ・八甲田丸・ねぶたの館等アスパムを中心とした周辺の開発

・ 東北有数の規模を誇る浅虫水族館を軸とした浅虫地域の活性化対策

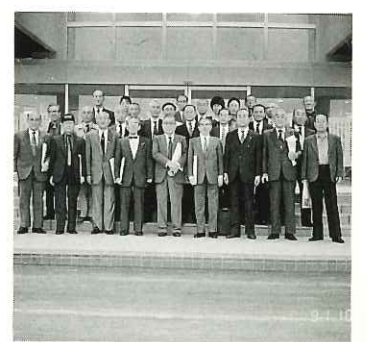
・ 雲谷・八甲田山系・十和田湖を結ぶ自然美豊かな観光資源を活用した通年観光の構想
など十項目に亘る質問・要望が出された。

これに対し市側各部長から項目別に懇切な回答があり従来にも増して内容の濃い幅広い懇談会となった。

◆施設見学会(六ヶ所原燃サイクル)

さきに行われた理事研修会(三沢基地見学)に次いで今回は各部会の部員を対象に六ヶ所村の「原燃PRセンター」を見学することとし、昨年十月十七日東北電力のご案内により能登会長以下、三十四名参加のもとに実施された。

同センターは九月にオープンしたばかりの新しい施設で、原子燃料サ



イクルの姿を凝縮した臨場感あふれる設備が施され、施設の主要部分をシミュレーション(模擬実験)感覚で体験することができ大いに参考になった。

昼食後バスで現地(標高三十〜六十m程度、敷地総面積約七百五十万㎡)及びむつ小川原港を見学、有意義な一日を過ごした。

◆青森中央郵便局

コミュニケーションの利用について

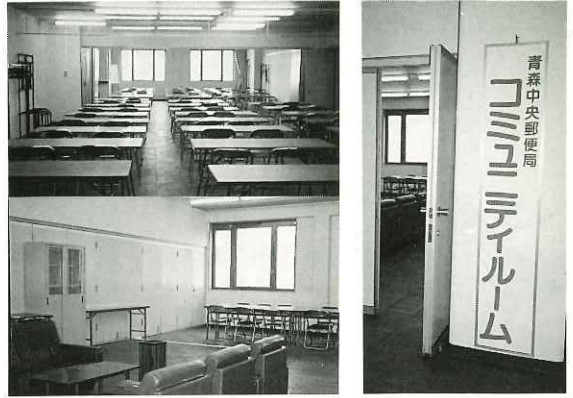
中央郵便局では、さきに開局した青森西部郵便局との関連で、局内かなりの遊休スペース(ホール・会議室)が生じたため、その有効活用について懇談したいむね、申し入れがあり、昨年十一月二十九日、中央

局会議室において、話し合いがもたれた。

赤沢局長さんのお話しでは、地域に溶け込み、地域の方々に愛され親しまれるために、設備の整ったホールや会議室を、町会の会議や催事等に使用して貰いたいとのことでありました。使用料は無料だそうです。

申込や詳しいことは、青森中央郵便局総務課、電話七五一一六二九、上席課長代理まで。

なお、青森西郵便局でも、体育館（ゲートボール等）として地域に開放しております。



◆青森公立大学（仮称）

設置に対する寄付金

町会連合会では、各町会長にお願ひし、寄付金を募っております。その一回目として、七十五町会分、三百万六千二百四十四円を、昨年十二月二十一日、町連三役が市役所を訪れ、佐々木市長に手渡ししましたところ、ご寄付された町会の方々に、大変感謝しております。

なお、今後は三月と六月に、寄付することにして寄付金を募っておりますので、何卒よろしくご協力の程、お願い申し上げます。

また、これとは別に、町会単独で寄付されました町会は、

中新町々会：五拾万円
相馬町々会：拾万円

◆『交通災害共済』への

加入をお勧めいたします

毎日のように交通事故が起きており、不慮の事故への備えも必要であります。

一人年額、三五〇円で、平成四年四月一日から平成五年三月三十一日まで、一年間有効です。

加入方法

- ① 町会で町内住民の加入票を、一括とりまとめ、会費を添えて、青森市交通安全対策室へ申込みをしてください。
- ② 個人で申込みの方は、青森市交通安全対策室の窓口へ申込みをしてください。

詳しいことは、青森市交通安全対策室（市役所内）に、お問い合わせください。

!!車に乗ったら必ずシートベルトの着用を!!

◆市民表彰式

平成三年度の、市民表彰式（市主催）が、昨年十一月十六日、青森県教育会館で行われました。町会長として市政に協力された方の受賞者は

左のとおりです。

- | | |
|---------|----------|
| 故 岩谷 貞作 | 佃第一町会長 |
| 高橋 正雄 | 南千刈町会長 |
| 太田 松雄 | 浪館浅井町会長 |
| 鎌田 武治 | 舘貝町会長 |
| 佐藤 末松 | 諏訪沢町会長 |
| 今井 永三 | 元・南奥野町会長 |
- 以上六名



◆青森市町会連合会

前会長 岩谷 貞作氏逝去

昨年十一月三十日、入院療養中のところ、不幸にも、行年八十六才で、ご逝去されました。氏は、昭和五十五年四月から平成二年三月まで、十年の間、第四代町会連合会々長として、親しまれ、慕われ、そして数々の功績を残されました。永い間誠にご苦勞様でした。在りし日の面影を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

◆ごみの処理について

- 一、「燃えるごみ」・「燃えないごみ」を、きちんと仕分けして、出しましょう。
- 二、ごみの収集日など、決められたルールを守って下さい。
- 三、カラス・ネコに、散らかされないよう、網など利用し、街の美化にも、気をつけましょう。

◆平成三年度

小型除排雪機の無償貸与

地域住民除排雪活動推進モデル事業として、小型除排雪機を、無償で貸与するものであります。本年度は、左記の町会へ貸与することになりました。

記

大野町会・松森町会・筒井町会・浜町町会、計四台



◆相馬町開町百年

昨年十月十八日、町会創立百周年の式典及び、記念誌を発売、明治・大正・昭和・平成の四世代にわたって、町会発展のため、ご尽力くださった、歴代町会長、役員諸兄のご苦労に対しまして心から敬意を表します。

なお、平成三年度記念式典を挙行了した町会

- 一〇周年…戸山が丘町会
- 二〇周年…志田町会
- 三〇周年…三内第二町会

◆新・町会が設立され

町会連合会に加入

町会名 シャートーム青森
 町会長 木村 侃たけ
 西部四区連合町会に所属する。
 これで町会連合会へ所属の町会数が、三百六十一町会になりました。

哀悼録(町会長)

佃第一 岩谷 貞作

平3・11・30

謹んで哀悼の意を表します

◆町連だよりの発行について

町連だよりが、現在第七号を発行しておりますが、町連だよりの前は、事務局だよりとして、昭和51年に第一号を発行、昭和61年に第一三五号が発行され、その後、名称を町連だよりと変更し、昭和62年に町連だより第一号を発行し、現在に至っております。
 末永くご愛読賜りますよう、切望します。

町連情報

- 町会数361町会
- 世帯数91,790世帯
- 組(冊)数6,357組
- 地区連合町会地区数35地区
- 1町会当り平均世帯数254世帯
(平成3年12月1日現在)

あとがき

町連だより、第七号をお送りします。
 平成四年度から、七月と一月の二回、発行する予定です。
 地域町会における行事も、掲載したいと思っておりますので、原稿・写真等についても、ご協力をお願い致します。
 今年は暖冬で、しのぎ易い昨今ですが、寒暖の差もあるので、お体に十分注意し、お元気で過されますよう、心から祈念いたします。

